



不確実性を考慮した 実践的地震災害リスクマネジメントに向けて ～ 科学者×実践者の対話～

日時

2019年1月19日（土）
10:00～16:45

会場

京都市リサーチパーク9号館5F
京都大学デザインイノベーション拠点（JR丹波口駅 西へ徒歩7分）

本ワークショップでは、これまで主催者がシリーズで実施してきたステークホルダー別の「地震リスクの不確実性」に関するワークショップを踏まえ、より実践的な側面に焦点を当て、不確実性を考慮した実践的な地震災害リスクマネジメントのあり方を、主要なマルチステークホルダーが一堂に会し協働で検討することを目的に開催します。

本ワークショップを通して、地震災害、特に南海トラフ地震の備えとして、その大きい不確実性を踏まえ既存の災害対策に加えてどのようなことを検討し、実践すべきかを対話し、それを基にステークホルダーからの具体的提案を引き出すこと狙いとします。

ステークホルダーと科学者の対話を核に、本シリーズの特徴の1つであるシナリオベースの対話手法、協働知創造の手法を用いながら、話し合いを進めていきます。

■プログラム

09:45	開場・受付
10:00-10:15	開会／趣旨説明
10:15-11:00	南海トラフ地震に関わる最新科学情報と政策動向
11:00-12:30	シナリオ1／協働グループワーク 昼食
13:30-15:00	シナリオ2／協働グループワーク
15:00-15:30	休憩&対話
15:30-16:45	提案のとりまとめと発表： 不確実性を踏まえた実践的災害リスクマネジメントのあり方
16:45	閉会

■参加方法

2019年1月17日（木）までに、
京都大学研究ワークショップ事務局（kyotouniversity123@gmail.com）宛てに、

1. お名前、
2. ご所属先およびお役職名

を明記の上、メールをお送りください。

■参加費

無料：自然災害研究協議会近畿地区部会の助成を受けています

■会場地図（京都市リサーチパーク）

